

巻き爪の矯正ワイヤー治療を受けられる方へ

◆巻き爪

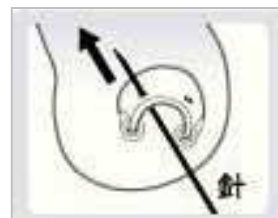
巻き爪とは、足の爪の角の部分曲がって皮膚に食い込むようになった状態で、痛みを伴います。窮屈な靴や先の尖った靴などを履いて、足の指が横に圧迫されることが原因と言われています。

◆矯正ワイヤー治療

矯正ワイヤー治療は、爪に穴を開けて歯科矯正用のステンレスワイヤーを通すだけの痛みがなく簡単で効果的な治療法です。

治療の際には爪を皮膚の先端から2mm以上伸ばして来院していただきます。局所麻酔注射は行いません。爪に2カ所穴を開けワイヤーを通します。ワイヤーがずれないようにアロンアルファで固定します。施術時間は10分程度です。

曲げられたワイヤーが元のまっすぐな状態に戻ろうとする力で、変形した爪が少しずつ広がっていきます。痛みは翌日(場合によっては当日)から軽減します。ワイヤー治療中日常生活上の制限はありません。当日から入浴も可能です。伸びた爪やワイヤーの端が靴下やストッキングに引っかかる場合は、絆創膏などでカバーしていただきます。



◆治療期間

矯正ワイヤー治療は爪の1/3から1/2程度までが平らになるまで続けます。柔らかい爪では数日で平らになりますが、爪が硬く強度に巻いている例では数ヶ月以上かかることがあります。

◆再治療

爪の伸び具合によって変わりますが、通常1~2ヵ月後に爪を切りワイヤーを除去します。巻き爪変形の矯正が不十分な時には再度新しいワイヤーを挿入します。治療中に爪が割れることがあります。その場合は爪が伸びるのを待ってからワイヤーを入れ直します。ワイヤー抜去後に変形が再発した場合にも再度ワイヤー治療を行います。



▲矯正ワイヤーによる治療後

◆矯正ワイヤーの利点と欠点

利点は痛みを伴わない処置であること、欠点は治療が長期間かかること、爪の変形が再発する可能性があることです。

◆治療に関してご希望・お問合せの方は あさひ病院 形成外科 までご相談ください。

あさひ病院 形成外科 診察日：毎月第4金曜日 15時～17時（予約制）

TEL:0568-85-0077